

グローバル全生物ゲノム株式ファンド (年2回決算型)

運用報告書（全体版）

第12期（決算日 2026年6月8日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。
「グローバル全生物ゲノム株式ファンド（年2回決算型）」は、2026年6月8日に第12期の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／内外／株式		
信 託 期 間	2020年9月10日から原則無期限です。		
運 用 方 針	主として、「グローバル全生物ゲノム株式マザーファンド」受益証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主要運用対象	グローバル全生物ゲノム株式 ファンド（年2回決算型）	「グローバル全生物ゲノム株式マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。	
	グローバル全生物ゲノム株式 マ ザ ー フ ァ ン ド	日本を含む世界の金融商品取引所上場株式（預託証券を含みます。）を主要投資対象とします。	
組 入 制 限	グローバル全生物ゲノム株式 ファンド（年2回決算型）	株式への実質投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。	
	グローバル全生物ゲノム株式 マ ザ ー フ ァ ン ド	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。	
分 配 方 針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。基準価額水準が1万円（1万口当たり）を超えている場合には、分配対象額の範囲内で積極的に分配を行ないます。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。		

<645014>

アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.amova-am.com

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】
・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額				株 式 組 入 比 率		純 資 産 額
	(分配落)	税 込 配 分	み 金 騰 落	期 中 率	(参考指数)	期 中 率	
	円		円	%		%	百万円
8期(2024年6月7日)	5,224		0	△ 1.6	150.50	16.8	4,059
9期(2024年12月9日)	5,059		0	△ 3.2	152.63	1.4	3,505
10期(2025年6月9日)	4,587		0	△ 9.3	138.06	△ 9.5	2,813
11期(2025年12月8日)	6,581		0	43.5	184.41	33.6	3,565
12期(2026年6月8日)	7,084		0	7.6	181.77	△ 1.4	2,943

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。
(注) ファクトセット・グローバル・バイオフार्マ&アンシラリー・サービシーズ・インデックス（配当込み、円ヘッジなし、円ベース）は、ファクトセット社が開発した世界のバイオ医薬品の開発、研究、製造、ソフトウェア技術等を手掛ける企業の株式で構成された米ドルベースの指数を、アモーヴァ・アセットマネジメントが円換算したものです。なお、設定時を100として2026年6月8日現在知りえた情報に基づいて指数化しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

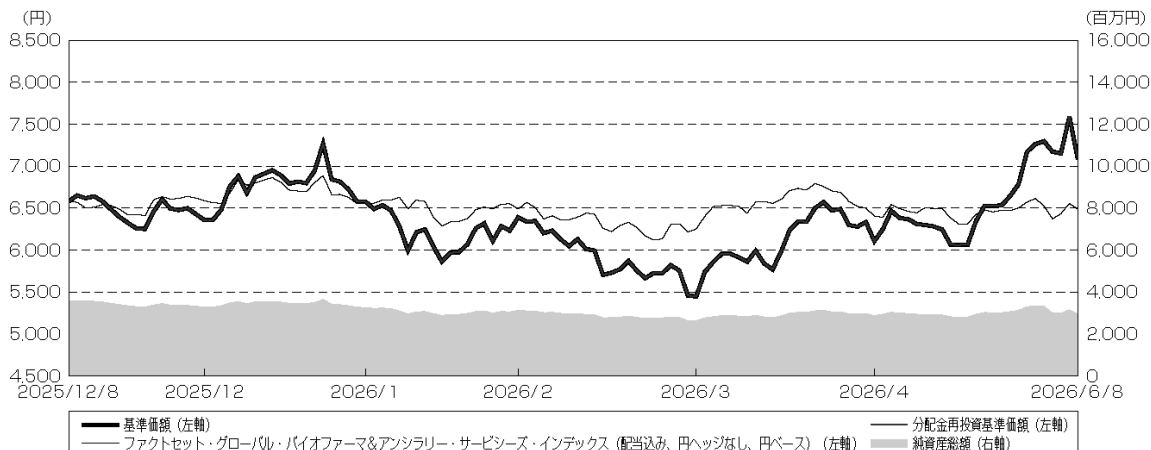
年 月 日	基 準 価 額			株 式 組 入 比 率	
		騰 落	率	(参考指数)	騰 落 率
(期 首)	円		%		%
2025年12月8日	6,581		—	184.41	—
12月末	6,358		△ 3.4	184.67	0.1
2026年1月末	6,578		△ 0.0	183.67	△ 0.4
2月末	6,391		△ 2.9	181.88	△ 1.4
3月末	5,448		△ 17.2	175.20	△ 5.0
4月末	6,108		△ 7.2	179.46	△ 2.7
5月末	7,172		9.0	184.13	△ 0.2
(期 末)					
2026年6月8日	7,084		7.6	181.77	△ 1.4

(注) 騰落率は期首比です。
(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

（2025年12月9日～2026年6月8日）

期中の基準価額等の推移



期 首：6,581円
期 末：7,084円（既払分配金（税込み）：0円）
騰 落 率：7.6%（分配金再投資ベース）

- （注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- （注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- （注）分配金再投資基準価額およびファクトセット・グローバル・バイオファーマ&アンシリリー・サービシーズ・インデックス（配当込み、円ヘッジなし、円ベース）は、期首（2025年12月8日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- （注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- （注）ファクトセット・グローバル・バイオファーマ&アンシリリー・サービシーズ・インデックス（配当込み、円ヘッジなし、円ベース）は当ファンドの参考指数です。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、「グローバル全生物ゲノム株式マザーファンド」受益証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・企業の財務状況の改善や、医薬品・ヘルスケア分野における開発パイプライン進展への期待が一部で好感されたこと。
- ・人工知能（AI）を活用したアプリケーションの拡大や戦略的提携の進展が、成長期待の高まりにつながったこと。

<値下がり要因>

- ・マクロ要因によって株式市場のボラティリティ（価格変動性）が高まったこと。
- ・創薬パイプラインの遅れや臨床試験データのばらつきが意識され、短期的な逆風要因となったこと。

投資環境

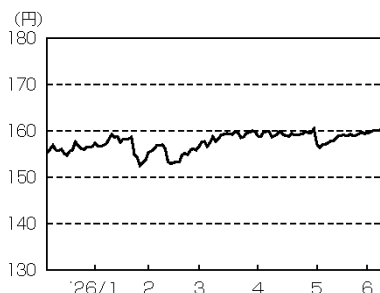
（株式市況）

2026年に入ると、中東情勢を巡る緊張の高まりなど地政学リスクが株式市場のボラティリティを高める要因となりました。エネルギー供給への懸念から原油価格が一時上昇し、インフレ再加速への警戒感が意識される場面も見られました。株式市場は3月にかけて調整する局面があったものの、4月以降は持ち直しに転じました。その後は、企業業績の底堅さやAI関連投資の拡大を背景にテクノロジー株が上昇し、米国株式市場は高値圏で推移しました。一方で、中東情勢の先行きやエネルギー価格の動向を巡る不透明感は残り、市場の変動要因として引き続き意識される展開となりました。

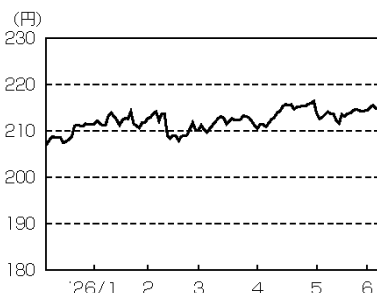
（為替市況）

期間中における主要通貨（対円）は、下記の推移となりました。

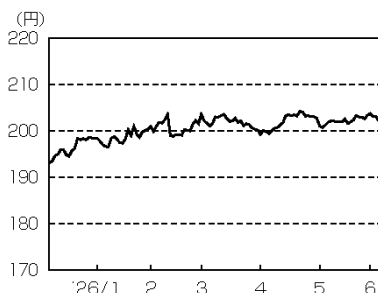
円／アメリカドルの推移



円／イギリスポンドの推移



円／スイスフランの推移



当ファンドのポートフォリオ

（当ファンド）

当ファンドは、「グローバル全生物ゲノム株式マザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

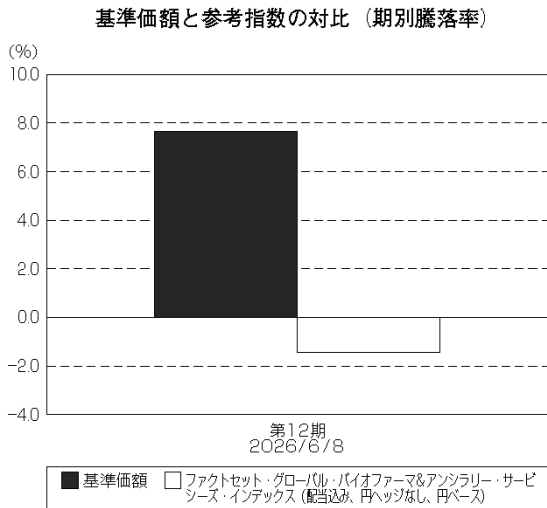
（グローバル全生物ゲノム株式マザーファンド）

期間中の主な投資行動としては、肥満や糖尿病の治療薬であるGLP-1製剤において業界をリードする世界有数の製薬会社であるイーライリリー（医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス）を新規に組み入れました。同社は厚みのある創薬パイプラインをさらに拡充するとともに、創薬・開発プロセスへのAI活用の高度化が進んでおり、研究開発期間の短縮や革新的治療法の市場拡大が期待されます。また、近接ライゲーショントクニ技術（空間的に近接した分子同士だけをDNAライゲーショントクニでつなぎ、その「近さ」の情報を配列解析などで読み出す分子生物学的手法）を基盤とする独自のプロテオミクス（タンパク質の構造・機能を総合的に研究する学問分野）・プラットフォームNULISA（核酸標識免疫サンドイッチアッセイ）の実用化を進めるAlamar Biosciences（医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス）を新規に組み入れました。同社のプラットフォームは、従来の免疫アッセイ（抗原或いは抗体の反応を利用して血清や尿のような生物学的液体の中に含まれる物質の濃度を測定する生化学的試験）と比較して高い感度と高マルチプレックス解析（1つのサンプルから複数の項目の情報を同時に取得し、解析する技術）を実現し、神経系バイオマーカーをはじめとする低発現タンパク質の検出を可能にしています。これにより、新規創薬ターゲットの特定や患者層別化、コンパニオン診断薬の開発を支援する技術として、学術研究機関および製薬企業の双方から高感度プロテオミクスへの需要が高まる中で、同社は当分野における重要なポジションを確立しつつあると見ています。

一方、リジェネロン・ファーマシューティカルズ（医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス）、ヴィーヴァ・システムズ（ヘルスケア機器・サービス）、アムジェン（医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス）については、市場ボラティリティが高まる局面において、より確信度の高い銘柄への集中を図る観点から保有を解消しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。
グラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。
(注) ファクトセット・グローバル・バイオフィーマ&アンシリリー・サービス・インデックス（配当込み、円ヘッジなし、円ベース）は当ファンドの参考指数です。

分配金

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第12期 2025年12月9日～ 2026年6月8日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	29

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「グローバル全生物ゲノム株式マザーファンド」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行ないます。

（グローバル全生物ゲノム株式マザーファンド）

技術革新の進歩や費用曲線の低下に関連したデフレ圧力が今後3～5年間に於いてゲノム企業・ゲノム関連企業の売上数量増加をもたらし、生産性、収益性を押し上げることになる予想しています。より重要なこととして、DNAシーケンシング（DNA（＝核酸）を構成する塩基の配列を決定すること）やゲノム編集等に関連する技術的進歩によって科学的発見のペースが加速することで、病気の症状だけを抑えるという治療ではなく、患者一人ひとりの病気を根治する個別化医療の時代の到来が予見されます。細胞療法の革新と他家由来細胞の活用が組み合わさることで、細胞療法の市場規模がさらに1,500億ドル拡大する可能性があり、癌の遺伝子療法の総市場規模は約20倍に増加し、2,600億ドルを超えると期待されます。そうした治療法のブレークスルー（大躍進）を受けて、シーケンシングに対する需要の拡大が加速すると思われ、シーケンシングは通常の医療の一部になると考えられます。また、これらの技術はヘルスケアの分野を超えて拡大してきています。例えば、2025年までCRISPR技術（ゲノム編集技術の1つ）は農業畜産水産物市場を推定でおよそ1,700億ドル拡大させる可能性があり、世界の人口増加が予想されるなかで食料供給を支えたとみられています。人為的要因による土壌汚染や海洋汚染をゲノム技術の活用によって低減させ、それによって持続可能な作物の栽培や水産物の養殖が可能になるとみられます。当ファンドでは、DNAシーケンシングやゲノム編集、AI技術等の融合を活かし、世界経済においてあらゆる産業に影響を与える可能性がある企業を選好していく方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2025年12月9日～2026年6月8日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 57	% 0.900	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(30)	(0.466)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(26)	(0.411)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（ 受 託 会 社 ）	(1)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	2	0.026	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(2)	(0.026)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.000	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	(0)	(0.000)	
(d) そ の 他 費 用	4	0.057	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(1)	(0.017)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 等 ）	(2)	(0.038)	印刷費用等は、法定開示資料の印刷に係る費用、運用において利用する指数の標章使用料など
合 計	63	0.983	
期中の平均基準価額は、6,342円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

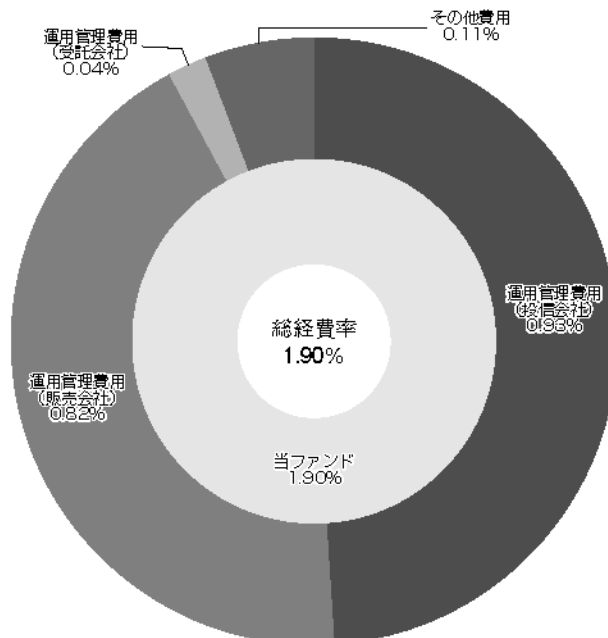
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.90%です。



（注）当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

（注）「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認いただけますが、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

（注）各比率は、年率換算した値です。

（注）当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

（注）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2025年12月9日～2026年6月8日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
グローバル全生物ゲノム株式マザーファンド	千口 —	千円 —	千口 584,720	千円 866,168

○株式売買比率

(2025年12月9日～2026年6月8日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	グローバル全生物ゲノム株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	10,017,402千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	23,423,446千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.42

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2025年12月9日～2026年6月8日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況（2025年12月9日～2026年6月8日）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2025年12月9日～2026年6月8日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2026年6月8日現在)

親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
グローバル全生物ゲノム株式マザーファンド	2,451,923	1,867,202	2,918,811

(注) 親投資信託の2026年6月8日現在の受益権総口数は、15,444,513千口です。

○投資信託財産の構成

(2026年6月8日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
グローバル全生物ゲノム株式マザーファンド	2,918,811	97.5
コール・ローン等、その他	73,804	2.5
投資信託財産総額	2,992,615	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) グローバル全生物ゲノム株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（24,165,213千円）の投資信託財産総額（24,561,466千円）に対する比率は98.4%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1アメリカドル=160.38円、1ユーロ=184.92円、1イギリスポンド=214.06円、1スイスフラン=201.46円、1オーストラリアドル=113.20円、1香港ドル=20.47円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2026年6月8日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	2,992,615,208
コール・ローン等	59,419,704
グローバル全生物ゲノム株式マザーファンド(評価額)	2,918,811,423
未収入金	14,382,876
未収利息	1,205
(B) 負債	49,110,553
未払解約金	19,906,081
未払信託報酬	27,960,479
その他未払費用	1,243,993
(C) 純資産総額(A－B)	2,943,504,655
元本	4,155,308,787
次期繰越損益金	△1,211,804,132
(D) 受益権総口数	4,155,308,787口
1万口当たり基準価額(C／D)	7,084円

(注) 当ファンドの期首元本額は5,417,712,204円、期中追加設定元本額は39,075,921円、期中一部解約元本額は1,301,479,338円です。

(注) 1口当たり純資産額は0.7084円です。

(注) 2026年6月8日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は1,211,804,132円です。

○損益の状況（2025年12月9日～2026年6月8日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	156,590
受取利息	156,590
(B) 有価証券売買損益	237,381,716
売買益	288,917,937
売買損	△ 51,536,221
(C) 信託報酬等	△ 29,204,472
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	208,333,834
(E) 前期繰越損益金	△1,353,257,354
(F) 追加信託差損益金	△ 66,880,612
(配当等相当額)	(1,102,387)
(売買損益相当額)	(△ 67,982,999)
(G) 計(D＋E＋F)	△1,211,804,132
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G＋H)	△1,211,804,132
追加信託差損益金	△ 66,880,612
(配当等相当額)	(1,115,745)
(売買損益相当額)	(△ 67,996,357)
分配準備積立金	11,297,753
繰越損益金	△1,156,221,273

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 親投資信託の信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要した費用のうち、2025年12月9日～2026年6月8日の期間に当ファンドが負担した費用は9,216,637円です。

(注) 分配金の計算過程（2025年12月9日～2026年6月8日）は以下の通りです。

項 目	2025年12月9日～ 2026年6月8日
a. 配当等収益(経費控除後)	4,808,645円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	1,115,745円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	6,489,108円
e. 分配対象収益(a＋b＋c＋d)	12,413,498円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	29円
g. 分配金	0円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金（税込み）	0円
-----------------	----

○お知らせ

約款変更について

2025年12月 9 日から2026年 6 月 8 日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当ファンドについて、「一般社団法人投資信託協会」の合併に伴ない、その記載を「一般社団法人資産運用業協会」に変更すべく、2026年 4 月 1 日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。（付表、第 8 条、第22条、第23条、第29条）

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

グローバル全生物ゲノム株式マザーファンド

運用報告書

第7期（決算日 2025年12月8日）
（2024年12月10日～2025年12月8日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2019年1月16日から原則無期限です。
運用方針	主として、日本を含む世界の金融商品取引所上場株式に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	日本を含む世界の金融商品取引所上場株式（預託証券を含みます。）を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

ファンド概要

主として、日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場されている、ゲノム技術に関連するビジネスを行なう企業およびゲノム技術の恩恵を受ける企業の株式に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。

株式の銘柄選定にあたっては、各企業の成長性、収益性、財務健全性、流動性などを勘案して行ないます。

株式の組入比率は、高位を維持することを基本とします。

外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行ないません。

ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準になったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

<639028>

【運用報告書の表記について】
・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		ファクトセット・グローバル・ バイオフーマ&アンシリャー・ サービシーズ・インデックス (配当込み、円ヘッジなし、円ベース) (参考指数)		株 組 入 比 率	純 資 産 額
		期 騰 落 中 率		期 騰 落 中 率		
	円	%		%	%	百万円
3 期 (2021年12月 7 日)	16, 836	△21. 2	162. 24	15. 1	99. 3	83, 184
4 期 (2022年12月 7 日)	11, 167	△33. 7	166. 89	2. 9	99. 6	45, 741
5 期 (2023年12月 7 日)	11, 144	△ 0. 2	166. 69	△ 0. 1	99. 4	41, 899
6 期 (2024年12月 9 日)	10, 817	△ 2. 9	197. 53	18. 5	99. 1	26, 789
7 期 (2025年12月 8 日)	14, 370	32. 8	238. 67	20. 8	99. 4	25, 892

(注) ファクトセット・グローバル・バイオフーマ&アンシリャー・サービシーズ・インデックス（配当込み、円ヘッジなし、円ベース）は、ファクトセット社が開発した世界のバイオ医薬品の開発、研究、製造、ソフトウェア技術等を手掛ける企業の株式で構成された米ドルベースの指数を、アモーヴァ・アセットマネジメントが円換算したものです。なお、設定時を100として2025年12月 8 日現在知りえた情報に基づいて指数化しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		ファクトセット・グローバル・ バイオフーマ&アンシリャー・ サービシーズ・インデックス (配当込み、円ヘッジなし、円ベース) (参考指数)		株 組 入 比 率
		騰 落 率		騰 落 率	
	円	%		%	%
(期 首) 2024年12月 9 日	10, 817	—	197. 53	—	99. 1
12月末	10, 556	△ 2. 4	198. 70	0. 6	99. 2
2025年 1 月末	11, 591	7. 2	202. 09	2. 3	99. 4
2 月末	10, 196	△ 5. 7	189. 25	△ 4. 2	99. 3
3 月末	9, 224	△14. 7	183. 78	△ 7. 0	99. 1
4 月末	9, 186	△15. 1	170. 34	△13. 8	99. 4
5 月末	9, 018	△16. 6	173. 21	△12. 3	99. 3
6 月末	10, 304	△ 4. 7	178. 40	△ 9. 7	99. 3
7 月末	10, 679	△ 1. 3	194. 78	△ 1. 4	98. 9
8 月末	10, 906	0. 8	196. 98	△ 0. 3	99. 4
9 月末	11, 899	10. 0	202. 89	2. 7	98. 9
10 月末	13, 510	24. 9	223. 25	13. 0	99. 3
11 月末	14, 595	34. 9	242. 89	23. 0	99. 0
(期 末) 2025年12月 8 日	14, 370	32. 8	238. 67	20. 8	99. 4

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2024年12月10日～2025年12月8日)

基準価額の推移

期間の初め10,817円の基準価額は、期間末に14,370円となり、騰落率は+32.8%となりました。

基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・人工知能（A I）や半導体への期待を背景に、主要株式市場が好調に推移したこと。
- ・A I、ゲノミクス（ゲノムと遺伝子について研究する生命科学の一分野）、遺伝子編集、マルチオミクス（生体内の機能を担うさまざまな物質について、総合的・網羅的に研究する学問分野）解析といった先端技術分野で進展が見られたこと。
- ・一部企業がファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）面で良好な成果を示したこと。
- ・成長志向の政策や金利の緩和などの構造的な追い風が市場環境を下支えしたこと。

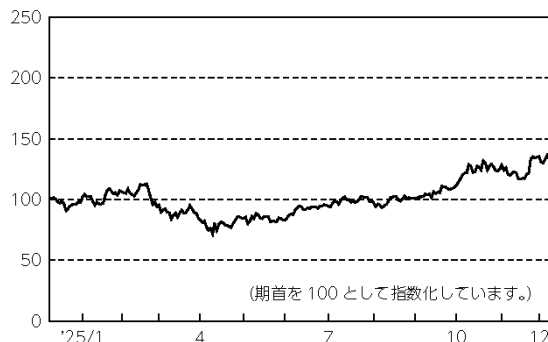
<値下がり要因>

- ・ネガティブな臨床試験結果が発表されたこと。
- ・株式市場におけるボラティリティ（価格変動性）が高まったこと。

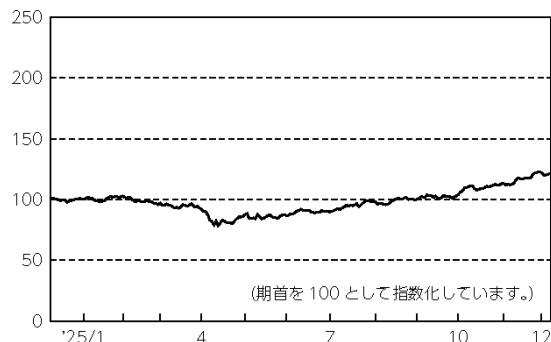


期 首	期中高値	期中安値	期 末
2024/12/09	2025/12/05	2025/04/09	2025/12/08
10,817円	14,767円	7,784円	14,370円

基準価額（指数化）の推移



ファクトセット・グローバル・バイオフィーマ&アンシラリー・サービス・インデックス（配当込み、円ヘッジなし、円ベース）（指数化）の推移



（株式市況）

世界の主要株式市場は、期間の初めと比べて上昇しました。米大統領選挙の結果を受けて、市場は規制緩和や税制軽減への期待を背景にリスク選好が強まりました。2025年4月に入ると、米政権による前例のない関税措置の発表と中国の迅速な報復関税が引き金となり、急激なポジション調整による大幅な売りが発生しました。その後、複数の貿易関税の停止・交渉の進展が好感され、株式市場は反発しました。米国連邦準備制度理事会（FRB）は、9月と10月の連邦公開市場委員会（FOMC）で段階的な金融緩和サイクルを再開しました。暗号資産価格の推移は不安定で、10月に史上最高値を更新した後は売り圧力に押されました。

（為替市況）

期間中における主要通貨（対円）は、下記の推移となりました。

円／アメリカドルの推移



円／イギリスポンドの推移



円／スイスフランの推移



ポートフォリオ

期間中の主な投資行動としては、希少疾患や難治性小児疾患向けの全ゲノム／エクソーム配列解析（WGS／WES）において市場をリードする地位を確立しているジーンDxホールディングス（ヘルスケア機器・サービス）を新規に組み入れました。強みとなっているデータ面の優位性がますます強化されていること、新しい臨床ガイドラインを追い風として当面の大幅な市場拡大が見込まれること、WGSを小児科医療の標準療法にしていくという明確な長期ビジョンを掲げていることなどを根拠に、当ファンドでは高い確信を持っています。最近、米国小児科学会が小児神経発達症の第一選択検査法としてWGS／WESを用いるように推奨したことは重要な転換点となっており、大規模な新市場への扉が開かれています。

一方、ToolGen（医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス）の保有を解消しました。初期段階のパイプラインにおけるリスクが高いこと、前臨床パイプラインの質や進捗状況が不透明であること、より確信度の高い投資機会が他に存在することが背景です。今後は、より強固な臨床実績、明確な規制対応、グローバルな事業展開の透明性を有するゲノム編集プラットフォームへの投資比重を高めていく方針です。さらに、自家保険を活用する事業者向けの民間ヘルスケア・プラットフォーム運営会社によって買収されたアコレイド（ヘルスケア機器・サービス）の保有を解消しました。

○今後の運用方針

技術革新の進歩や費用曲線の低下に関連したデフレ圧力が今後3～5年間に於いてゲノム企業・ゲノム関連企業の売上数量増加をもたらし、生産性、収益性を押し上げることでと予想しています。より重要なこととして、DNAシーケンシング（DNA（＝核酸）を構成する塩基の配列を決定すること）やゲノム編集等に関連する技術的進歩によって科学的発見のペースが加速することで、病気の症状だけを抑えるという治療ではなく、患者一人ひとりの病気を根治する個別化医療の時代の到来が予見されます。細胞療法の革新と他家由来細胞の活用が組み合わさることで、細胞療法の市場規模がさらに1,500億アメリカドル拡大する可能性があり、癌の遺伝子療法の総市場規模は約20倍に増加し、2,600億アメリカドルを超えると期待されます。そうした治療法のブレークスルー（大躍進）を受けて、シーケンシングに対する需要の拡大が加速すると思われ、シーケンシングは通常の医療の一部になると考えられます。また、これらの技術はヘルスケアの分野を超えて拡大してきています。例えば、2025年までCRISPR技術（ゲノム編集技術の1つ）は農業畜産水産物市場を推定でおよそ1,700億アメリカドル拡大させる可能性があり、世界の人口増加が予想されるなかで食料供給を支えるとみられています。人為的要因による土壌汚染や海洋汚染をゲノム技術の活用によって低減させ、それによって持続可能な作物の栽培や水産物の養殖が可能になるとみられます。当ファンドでは、DNAシーケンシングやゲノム編集、AI技術等の融合を活かし、世界経済においてあらゆる産業に影響を与える可能性がある企業を選好していく方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2024年12月10日～2025年12月 8 日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 9 (9)	% 0.082 (0.082)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	0 (0)	0.002 (0.002)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	4 (4)	0.035 (0.035)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用
合 計	13	0.119	
期中の平均基準価額は、10,972円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2024年12月10日～2025年12月8日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 31,215	千アメリカドル 49,748	百株 61,997	千アメリカドル 96,037
	イギリス	1,120	千イギリスポンド 168	4,560	千イギリスポンド 1,106
	スイス	3 (-)	千スイスフラン 50 (△ 4)	100	千スイスフラン 1,413
	韓国	—	千韓国ウォン —	296	千韓国ウォン 895,441

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) (-)内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2024年12月10日～2025年12月8日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	22,576,410千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	22,906,441千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.98

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2024年12月10日～2025年12月8日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2024年12月10日～2025年12月8日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○組入資産の明細

(2025年12月8日現在)

外国株式

銘柄	株数	当期末(前期末)	当期評価額		業種等
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカドル	千円	
CORTEVA INC	548	229	1,517	235,582	素材
VEEVA SYSTEMS INC-CLASS-A	225	79	1,912	296,862	ヘルスケア機器・サービス
10X GENOMICS INC-CLASS A	2,875	3,717	6,605	1,025,490	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
908 DEVICES INC	4,674	2,923	1,920	298,140	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
ABSCI CORP	11,632	14,366	5,143	798,436	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ACCOLADE INC	6,431	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
ADAPTIVE BIOTECHNOLOGIES	16,521	4,565	6,733	1,045,341	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
AMGEN INC	75	45	1,507	234,039	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ARCTURUS THERAPEUTICS HOLDIN	2,679	2,745	1,957	303,875	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ATAI BECKLEY NV	—	4,708	2,034	315,772	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
BEAM THERAPEUTICS INC	2,572	2,337	6,332	983,049	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
BURNING ROCK BIOTECH LTD-ADR	530	318	639	99,248	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
CAREDX INC	2,955	2,499	4,631	718,936	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
CARIS LIFE SCIENCES INC	—	559	1,613	250,480	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
CERUS CORP	9,020	6,594	1,365	211,903	ヘルスケア機器・サービス
COMPASS PATHWAYS PLC	2,558	2,540	1,478	229,531	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
CRISPR THERAPEUTICS AG	2,204	1,605	9,133	1,417,956	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
EXACT SCIENCES CORP	446	155	1,566	243,219	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
GENEDX HOLDINGS CORP	—	251	3,994	620,131	ヘルスケア機器・サービス
GUARDANT HEALTH INC	2,547	1,027	10,482	1,627,343	ヘルスケア機器・サービス
ILLUMINA INC	185	658	8,487	1,317,639	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
INCYTE CORP	310	227	2,331	362,007	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
INTELLIA THERAPEUTICS INC	2,740	2,019	1,940	301,283	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
IONIS PHARMACEUTICALS INC	1,825	1,004	8,201	1,273,148	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
NATERA INC	690	444	10,862	1,686,244	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
NURIX THERAPEUTICS INC	1,043	2,110	3,818	592,793	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
NVIDIA CORP	147	115	2,115	328,396	半導体・半導体製造装置
PACIFIC BIOSCIENCES OF CALIF	6,321	4,769	1,139	176,968	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
PERSONALIS INC	7,489	5,349	5,113	793,867	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
PRIME MEDICINE INC	3,886	6,584	2,462	382,308	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
QUANTUM-SI INC	15,236	8,357	1,203	186,827	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
REGENERON PHARMACEUTICALS	38	22	1,596	247,904	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
RECURSION PHARMACEUTICALS-A	10,922	7,987	3,762	584,042	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
REPAIR THERAPEUTICS INC	1,162	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
SCHRODINGER INC	1,035	2,190	3,863	599,840	ヘルスケア機器・サービス
STANDARD BIOTOOLS INC	5,928	4,427	633	98,295	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
TEMPUS AI INC	1,478	2,042	15,657	2,430,646	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
TWIST BIOSCIENCE CORP	2,218	1,615	5,218	810,057	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
VERTEX PHARMACEUTICALS INC	74	63	2,899	450,131	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
VERACYTE INC	2,542	1,737	7,750	1,203,138	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
小計	株数・金額	133,780	102,997	159,629	24,780,884
銘柄数<比率>	37	38	—	<95.7%>	
(イギリス)			千イギリスポンド		
GENUS PLC	644	421	1,091	225,929	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス

銘柄		株数	当 期 末		業 種 等	
			株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(イギリス)		百株	百株	千イギリスポンド	千円	
OXFORD NANOPORE TECHNOLOGIES		14,797	11,580	1,444	298,855	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
小計	株数・金額	15,441	12,002	2,535	524,784	
	銘柄数<比率>	2	2	—	<2.0%>	
(スイス)				千スイスフラン		
LONZA GROUP AG-REG		27	17	974	188,137	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
NOVARTIS AG-REG		211	124	1,328	256,467	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
小計	株数・金額	239	142	2,302	444,604	
	銘柄数<比率>	2	2	—	<1.7%>	
(韓国)				千韓国ウォン		
TOOLGEN INC		296	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
小計	株数・金額	296	—	—	—	
	銘柄数<比率>	1	—	—	<—%>	
合計	株数・金額	149,757	115,141	—	25,750,273	
	銘柄数<比率>	42	42	—	<99.4%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

○投資信託財産の構成

(2025年12月8日現在)

項目	当期	
	評価額	比率
	千円	%
株式	25,750,273	98.4
コール・ローン等、その他	430,158	1.6
投資信託財産総額	26,180,431	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当期末における外貨建純資産（25,921,989千円）の投資信託財産総額（26,180,431千円）に対する比率は99.0%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1アメリカドル=155.24円、1ユーロ=180.81円、1イギリスポンド=206.95円、1スイスフラン=193.06円、1オーストラリアドル=103.06円、1香港ドル=19.95円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年12月8日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	26,273,566,101
コール・ローン等	357,231,253
株式(評価額)	25,750,273,747
未収入金	161,751,916
未収配当金	4,307,515
未収利息	1,670
(B) 負債	380,852,061
未払金	226,776,293
未払解約金	154,075,768
(C) 純資産総額(A－B)	25,892,714,040
元本	18,018,888,393
次期繰越損益金	7,873,825,647
(D) 受益権総口数	18,018,888,393口
1万口当たり基準価額(C／D)	14,370円

- (注) 当ファンドの期首元本額は24,766,872,908円、期中追加設定元本額は1,309,675,315円、期中一部解約元本額は8,057,659,830円です。
- (注) 2025年12月8日現在の元本の内訳は以下の通りです。
- ・グローバル全生物ゲノム株式ファンド(1年決算型) 12,528,777,482円
 - ・グローバル全生物ゲノム株式ファンド(年2回決算型) 2,451,923,454円
 - ・グローバル・イノベーション株式ファンド(適格機関投資家向け) 1,572,205,136円
 - ・アモーヴァ/PoFs用グローバル全生物ゲノム株式ファンド(適格機関投資家向け) 1,465,982,321円
- (注) 1口当たり純資産額は14,370円です。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○損益の状況 (2024年12月10日～2025年12月8日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	72,250,609
受取配当金	23,836,992
受取利息	6,189,037
その他収益金	42,224,580
(B) 有価証券売買損益	6,697,279,411
売買益	9,781,479,942
売買損	△3,084,200,531
(C) 保管費用等	△ 8,378,341
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	6,761,151,679
(E) 前期繰越損益金	2,022,926,747
(F) 追加信託差損益金	311,040,600
(G) 解約差損益金	△1,221,293,379
(H) 計(D＋E＋F＋G)	7,873,825,647
次期繰越損益金(H)	7,873,825,647

- (注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

約款変更について

2024年12月10日から2025年12月 8 日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当ファンドについて、2025年 9 月 1 日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。
 - ①委託会社である当社がその社名を「日興アセットマネジメント株式会社」から「アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。(第 1 条、第 6 条)
 - ②「日興アセットマネジメント アメリカズ・インク」に運用指図権限を委託しておりますが、当社の社名変更に伴ない、当該運用委託先の社名を「アモーヴァ・アセットマネジメント・アメリカズインク」に変更いたしました。(第16条)
 - ③法定運用報告書の交付は行なわない旨を定めている規定につき、投資信託及び投資法人に関する法律第 14 条の改正に即した記載に変更するべく、変更を行ないました。(第51条)
 - ④当社の社名変更に伴ない、電子公告を掲載する当社ホームページのURLを「www.nikkoam.com/」から「www.amova-am.com」に変更いたしました。(第53条)